

令和7年度 第2回 三方原中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年6月3日（火） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 三方原中学校 被服室
- 3 出席委員 中川 秀三、鈴木 登志郎、中村 雅俊、岡本 秀人、細川 銀河、磯部 聖子、中村 雅臣、中野 久美子
- 4 オブザーバー 澤木 克彦（三方原協働センター所長）
- 5 学 校 足立 成寿（校長）、岡田 政之（教頭）、山岡 文彦（生徒指導主事）、堀野 直子（1学年主任）、大津 幸三郎（CS担当）、外山 直世（CSディレクター）

- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録制作者 CSディレクター 外山 直世、CS担当 大津 幸三郎
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中川委員から岡本委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 本校の「いじめ基本方針」について
- (2) 1年生の総合的な学習の体験学習「地域学習」について

10 会議記録

司会の岡田教頭から、委員総数8人のうち全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 本校の「いじめ基本方針」について

議長指示により生徒指導主事から別紙資料に基づき「いじめ基本方針」について説明があり、委員からは以下の意見があった

- ・タブレットでアンケートを取り、現状を知るのはいいことだと思う。次はいつ行うのか。
(中川委員)
- ・いじめアンケートは、毎学期行う。(生徒指導主事)
- ・タブレットを使ったということだが、具体的にはどんなものか。自由記述なのか、Yes,Noなのか。(鈴木委員)
- ・Yes,Noの20項目、選択肢を選ぶ形で行う。(生徒指導主事)
- ・いじめをしている側、されている側がいるわけだが、いじめをしている側がいじめをやめたら、いじめられる側になることがある。自分が子供のころのことを思い出すと、ターゲットが変わって次々と進んでいくと思うので、その辺は注意深く見ているのか。
(岡本委員)
- ・中学校は組織的対応としてしっかり見ている。(生徒指導主事)
- ・このくらいのマンモス校で、この結果なら少ないなと安心したが、ゼロがいいに決まって

いる。いじめている側はいじめということをわかっていないかもしれない。駄目だと思うが、他の生徒にこのようなことを公開しているのか。(中村委員)

- ・起きうるトラブルは未然に防ぎたいので、新入生説明会など親と子供が一緒にいる会の時に、青少年育成センターの方から SNS でこれをしたらいじめになる。これはいじめだろうということを話してもらっている。(生徒指導主事)
- ・愛情を持って言ったことが、本人には気に入らないことがある。そういうこともいじめにつながるんだよという指導が必要だと思う。(中村委員)
- ・昔は、愛着についての理解があったが今は難しくなっている。良かれと思ってやっていることもいじめにつながってしまう場合がある。難しい時代だ。(岡本委員)
- ・いじめている子は自覚があるのか。相手は気にしているんだよという指導があるのか。(鈴木委員)
- ・自覚がないのがほとんど、普段の生活の中での行き違いがそのようなことになる。いじめと認知をして、3 か月間は様子や状況を見ている。(生徒指導主事)
- ・組織的対応をするということだが、学校としてなにがいいのか、これ以上やることがないのではないかと感じる。(鈴木委員)
- ・学校に任せるのではなく、我々のような地域の人にお問い合わせするということができることなのかと思う。(岡本委員)
- ・ちょっかいをかけられた側は、次からこうしよう、こうしていこうという指導はあるのか。(磯部委員)
- ・次は先生にすぐに言ってよ、おうちの人に言ってよ、と声をかけ、サポートする。日常の中で長い目を見て指導していくことが必要だと考えている。(生徒指導主事)
- ・難しいことだ。このような範囲内ならエスカレートしないのが精一杯だと思う。(中川委員)

(2) 1年生総合的な学習の体験学習「地域学習」について

議長指示により、1 学年主任から「地域学習」について説明があった。

- ・今まで協力してくれたところがすべて受け入れてもらえるとは思っていないので、新しい風を入れながら、紹介していただければ私が交渉に行きたいと思う。(中村委員)
- ・三方原神社がいろいろな由来などを説明してくれるのではないかとと思う。(鈴木委員)
- ・豊岡病院、肉市場マム、ひまわり保育園、杏林堂、楽天堂整形外科、マックスバリュ、ジャガイモ農家などがいいと各委員より意見が出される。
- ・行けるところから行き、動いてみる。(中村委員)

11 協働センター所長より

地域学習について、生徒から「ここに行きたい、こういうところに興味がある」など逆の発想もあるのではないかとと思う。幅を広げてやるのがいいと思う。

12 連絡

司会から、次回は令和 7 年 12 月 2 日(火)14 時から被服室で開催する旨の報告があった。